

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 実用国語

教 科： 国語

科 目： 実用国語

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書： （ 第一学習社 高等学校 標準文学国語 ）

教科 国語 の目標： 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 実用国語 の目標： 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	随想（芸術） 近代の小説 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語で的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	花のいさな（観世寿夫） ・日本の伝統文化を論じた文章に触 れ、抽象的な内容がどのように説明 されているか理解する。 鼻（芥川龍之介） ・鼻が変化した内供と、彼を取り巻 く人々の心理の複雑さを、構成を把 握しながら読み解く。	○	○	○	花のいさな（観世寿夫） ・粘り強く随想を読み、学習課題に沿って、そ の構成・展開や表現について説明しようとして いる。 鼻（芥川龍之介） ・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み 取ろうとしている。 ・内供を取り巻く人々の心理や態度を積極的に 読み取ろうとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強 く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしてい る。 ・花が人の心にどのような影響をもたらしてい るかについて、積極的に考えを発表し合うこと で、自然に対するものの見方について理解を深 めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	随想（芸術） 現代の小説 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語で的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	真珠の耳飾りの少女（原田マハ） フェルメールの技を読む（朽木ゆり 子・福岡伸一） ・フェルメールの絵画を紹介する文 章を読んで、読み手の関心を引きつ けるための工夫について考える。	○	○	○	・二つの文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、そ れぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしている。 ・フェルメールやフェルメール作品に対する向き合 い方について、二つの文章の筆者間の違いを積極的に 説明しようとしている。 ・作品に関連した三人の人物について積極的に調べ、 文章にまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2 学 期	戦争と文学 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語で的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	夏の花（原民喜） ・「私」の移動とともに場面が変わ る文章展開を把握し、各場面におけ る「私」の心情を読み取る。	○	○	○	・小説中で「私」が移動した経路と場面展開、 そこでの心情について、粘り強く読み取ろうと している。 ・小説の表現や描写の特徴とその効果につい て、積極的に理解を深めようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○		1
	近代の小説 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語で的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	こころ（夏目漱石） ・物語の展開と出来事を整理なが ら、「私」と「K」それぞれの心情 をつかむ。	○	○	○	・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人 物の心情とその変化について理解を深めようと している。 ・指定された場面を、本文とは異なる視点から 書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深 めようとしている。	○	○	○	22
	定期考査						○	○		1
3 学 期	近代の小説 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語で的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	山月記（中島敦） ・表現の特徴が作品に及ぼす効果を 考え、人が虎になるという怪異の意 味を踏まえて作品の主題を考える。	○	○	○	・教材全体の構成を段落関係から読み取り、学 習課題に沿って表現の特色や登場人物の役割な どを説明しようとしている。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、 内容や展開を捉えようとしている。 ・典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題 の違いや作者の工夫をまとめようとしている。	○	○	○	15
	近代の小説 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語で的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	清兵衛と瓢箪（志賀直哉） ・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する 考えの違いを通して、価値判断や評 価について考えを深める。	○	○	○	・場面の移り変わりや登場人物の発言から、清兵衛と 大人たちの瓢箪に対する考えの違いを粘り強く読み 取ろうとしている。 ・当時の物価を積極的に調べたうえで、瓢箪の価格が どうとん上がっていくことの意味について、自分の考 えをまとめようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		合計 105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 小論文基礎

教 科： 国語

科 目： 小論文基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（大修館書店 国語表現 ）

教科 国語	の目標：	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	
【思考力、判断力、表現力等】	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	
科目 小論文基礎	の目標：	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準			知	思	態	配当 時数
			話	書	読							
1 学 期	小論文とは何か 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	・小論文の基本的な書き方を理解す る。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を 理解する。		○	○	○	・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどにつ いて理解を深めている。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得ら れるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の 展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫し ている。 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書 くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとし ている。		○	○	○	9
	定期考査								○	○		1
	反論を想定して書く 文章を読み取って書く 統計資料を読み取って書く 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	・反論を想定して小論文を書くこと の意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解 し、それに沿って小論文を書く。		○	○	○	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力 のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、 適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定し て論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫して いる。 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味 をもち、意欲的に取り組もうとしている。		○	○	○	3
		・文章の要旨をつかむための方法を 理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確に して小論文を書く。 ・統計資料から読み取ったことをふ まえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふ まえて小論文を書く。		○	○	○	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力 のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、 適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定し て論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫して いる。 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味 をもち、意欲的に取り組もうとしている。		○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
2 学 期	効果的な自己PR 将来の自分を考えよう 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	・自分の特長を端的に表現し、印象 に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果 的な自己PRをする。 ・就きたい職業に就くために必要な ことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の 自分」について文章にまとめる。		○	○	○	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の 職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報 の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にして いる。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠と なる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工 夫している。 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりす る活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		○	○	○	11
	定期考査								○	○		1
	志望理由を書く 自己推薦書を書く 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	・志望先についての情報を適切な方法で集め る。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つ を結びつけて、説得力のある志望理由を書く。 ・志望先に提出する書類に求められているこ とを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書 く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。		○	○	○	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と 自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み 合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠と なる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工 夫している。 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに 興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。		○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
3 学 期	面接にチャレンジ 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	・適切な言葉遣いや態度で面接の受 け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力の ある答え方で答える。		○	○	○	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深 め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現 や言葉遣いを理解して使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のこ とを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、 意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。		○	○	○	10
	グループディスカッションにチャレ ンジ 言葉による見方・考え方を働かせ、 言語活動を通して、国語的確に理 解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。	・グループディスカッションのねら みを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し 合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣 旨や価値を理解している。		○	○	○	・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣い を理解し、使い分けしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を 吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したり しながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫してい る。 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的 に取り組もうとしている。		○	○	○	10
	定期考査								○	○		合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目社会科演習

教 科： 地理歴史 科 目： 社会科演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ 私たちの公共（清水書院）・わたしたちの地理総合（二宮書店）・明解 歴史総合（帝国）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとしている。

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 主に公民分野 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査（1学期中間）			○	○		1
	A 主に歴史分野（日本史） 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査（1学期期末）			○	○		1
2 学 期	A 主に歴史分野（世界史） 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査（2学期中間）			○	○		1
	A 主に地理分野 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。				

	していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。					
	【思考力・判断力・表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。					
	定期考査（2学期期末）					1
3 学 期	A 総合 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。			17
	定期考査（学年末）					1
						合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目社会科演習

教 科： 地理歴史 科 目： 社会科演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ 私たちの公共（清水書院）・わたしたちの地理総合（二宮書店）・明解 歴史総合（帝国）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとしている。

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査（1学期中間）			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査（1学期期末）			○	○		1
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査（2学期中間）			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。				

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

使用教科書：（ Standard 数学Ⅱ 東京書籍 ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現する能力を高める

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学的活動を通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	数学的活動を通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学的活動を通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分の考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	方程式・式と証明 【知識及び技能】 計算がしっかりとできる。証明ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算等の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	図形と方程式 【知識及び技能】 図形と方程式の関係を把握できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算等の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
2 学 期	三角関数 【知識及び技能】 三角比を関数としてとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算等の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数と対数関係の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算等の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	微分と積分 【知識及び技能】 3次関数のグラフがかけられる。曲線や直線で囲まれた図形の面積が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算等の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 数学 科目： 数学A

教科： 0

科目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ Standard 数学A 東京書籍 ）

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、計算式等を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 計算式等を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、計算式やグラフを表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①基礎的な計算力を身に着け、定理等の考察に対応できる。 ②場合の数・確率・図形の解法を理解している。 ③場合の数・確率・図形の具体的な事象に対して応用することができる。	①場合の数・確率・図形の定理や公式の内容を理解してつか。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①場合の数・確率・図形やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 ②場合の数・確率・図形に関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	集合と場合の数 【知識及び技能】 場合の数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	確率とその基本性質 【知識及び技能】 確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	7
	いろいろな確率 【知識及び技能】 確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	三角形と比 【知識及び技能】 図形の考察ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	円の性質 【知識及び技能】 図形の考察ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	空間図形 【知識及び技能】 図形の考察ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力。	・指導事項 前回の授業内容確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

理科

科目 化学

教 科： 理科

科 目： 化学

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ 新編化学 数研出版 ）

教科 理科

単元の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 化学

の目標： 化学的な事物・現象について、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・化学的な課題を解決するための基本的な知識を身につける。 ・実験器具を安全・正確に扱うことができる。	・身につけた知識を活用して、化学的な課題に取り組むことができる。 ・化学的な現象について知識を活用して、文章やモデル図等で表現できる。 ・実験結果を活用して、物質を区別したり、法則性を発見できる。	・課題に粘り強く取り組むことができる。 ・課題や宿題を提出できるように自ら計画を立て、学習を進めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第2編 化学反応とエネルギー 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	1. 電池	・日常生活で用いられている金属の用途から、金属の陽イオンになりやすさを予想でき、検証実験で結果を確認できる。 ・金属と溶液の反応が起こるカイオン化列から予想でき、実験により確かめることができる。 ・電池をつくるための条件を実験結果から発見し、説明できる。 ・電池の起電力と正極、負極の関係を実験結果から発見し、説明できる。 ・さまざまな電池の仕組みを説明することができる。 ・実用電池の利点を電池のしくみから説明できる。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	第1編 物質の状態 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	2. 電気分解 第1章 固体の構造 1. 結晶とアモルファス 2. 金軸結晶 第2章 物質の状態変化 1. 三態の変化とエネルギー	・電気分解で陽極や陰極で生じる物質の規則性を実験結果から発見し、まとめることができる。 ・電気分解で陽極や陰極で生じる物質の物質量をファラデー定数を用いて求めることができる。 ・金属結晶の原子半径を誘導に基づいて導くことができる。 ・結晶とアモルファスの違いを結晶構造の違いから比較でき、説明できる。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
2 学 期		第2章 物質の状態変化 2. 気液平衡と蒸気圧 第3章 気体 1. 気体の状態方程式 2. 混合気体の圧力 3. 実在気体	・気液平衡を粒子モデルで表現できる。 ・気体の状態方程式を活用して、揮発性物質や気体の分子量を求めることができる。 ・分圧の法則を活用して、水に溶けにくい気体の分子量を求めることができる。 ・実在気体を理想気体に近づけるための条件を説明することができる。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
		4章 溶液 1. 溶解とそのしくみ 2. 溶解度 3. 希薄溶液の性質 4. コロイド溶液	・希薄溶液の性質を粒子モデルを用いて説明できる。 ・希薄溶液が示す性質の法則性を実験結果から発見でき、その法則性を利用して分子量を求めることができる。 ・コロイド溶液の性質をコロイド粒子の特性から説明することができる。	○	○	○	16
	期末考査			○	○		2
3 学 期	第4編 有機化合物 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	第1章 有機化合物の分類と分析 1. 有機化合物の特徴と分類 2. 有機化合物の分析 第2章 有機化合物の分類と分析 1. 脂肪族炭化水素 1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素	・有機化合物の性質が官能基に由来していることがわかる。 ・元素分析によって、有機化合物の分子式を推定することができる。 ・メタンを他の物質と置換反応させたときにできる物質を構造式で示すことができる。 ・エチレン、アセチレンを他の物質と付加反応させたときにできる物質を構造式で示すことができる。	○	○	○	6
		第3章 アルコールと関連化合物 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸	・第一級アルコール、第二級アルコール、第三級アルコールを区別することができる。 ・第一級アルコール、第二級アルコール、第三級アルコールを酸化したときに生成する物質を構造式で示すことができる。 ・銀鏡反応、フェーリング反応、ヨードホルム反応を示す物質を判断することができる。	○	○	○	11
	学年末考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ 704生物 数研出版 ）

教科 理科 の目標：

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験など【知識及び技能】を行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A生命現象と物質 1 生物物質と細胞 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・細胞の構成をしている各種の細胞小器官や、生体膜の働きや構造を理解させる。 ・教材・プリント・問題集・図説 ・一人1台端末の活用により図説などから課題を完成する。	【知識・技能】 授業内容の理解度、およびPCを利用しプリントを完成させることができるか。実験を正確に行うことができるか。定期 【思考・判断・表現】 PCを利用し課題を完成できる、実験結果レポートの考察、定期 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを利用し、調べ学習を進めることができるか。実験を主体的に取り組むことができるか、提出物を期限までにさせる	○	○	○	6
	A生命現象と物質 2 生命現象を支えるタンパク質 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・タンパク質の特性と生命活動にかかわる各種のたんぱく質を理解させる。 ・教材・プリント・問題集・図説 ・一人1台端末の活用により図説などから課題を完成する。	【知識・技能】 授業内容の理解度、およびPCを利用しプリントを完成させることができるか。実験を正確に行うことができるか。定期 【思考・判断・表現】 PCを利用し課題を完成できる、実験結果レポートの考察、定期 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを利用し、調べ学習を進めることができるか。実験を主体的に取り組むことができるか、提出物を期限までにさせる	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	A生命現象と物質 2 生命現象を支えるタンパク質 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・タンパク質の特性と生命活動にかかわる各種のたんぱく質を理解させる。 ・教材・プリント・問題集・図説 ・一人1台端末の活用により図説などから課題を完成する。	【知識・技能】 授業内容の理解度、およびPCを利用しプリントを完成させることができるか。実験を正確に行うことができるか。定期 【思考・判断・表現】 PCを利用し課題を完成できる、実験結果レポートの考察、定期 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを利用し、調べ学習を進めることができるか。実験を主体的に取り組むことができるか、提出物を期限までにさせる	○	○	○	8
	A生命現象と物質 3 代謝とエネルギー・呼吸 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・呼吸や光合成の仕組みと、エネルギーの取り込みに関しての共通性や相違点の見方から理解を深めさせる。 ・教材・プリント・問題集・図説 ・一人1台端末の活用により図説などから課題を完成する。	【知識・技能】 授業内容の理解度、およびPCを利用しプリントを完成させることができるか。実験を正確に行うことができるか。定期 【思考・判断・表現】 PCを利用し課題を完成できる、実験結果レポートの考察、定期 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを利用し、調べ学習を進めることができるか。実験を主体的に取り組むことができるか、提出物を期限までにさせる	○	○	○	9
2 学 期	定期考査			○	○		1
	A生命現象と物質 3 代謝とエネルギー・光合成、窒素同化 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	・光合成の仕組みと、エネルギーの取り込みに関しての共通性や相違点の見方から理解を深めさせる。 ・窒素同化の仕組みについて理解を深めさせる。 ・教材・プリント・問題集・図説 ・一人1台端末の活用により図説などから課題を完成する。	【知識・技能】 授業内容の理解度、およびPCを利用しプリントを完成させることができるか。実験を正確に行うことができるか。定期 【思考・判断・表現】 PCを利用し課題を完成できる、実験結果レポートの考察、定期 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを利用し、調べ学習を進めることができるか。実験を主体的に取り組むことができるか、提出物を期限までにさせる				12
	定期考査			○	○		1
	B遺伝子の働き 1 遺伝情報の発言 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	・遺伝情報の流れとDNAの複製、転写。翻訳の基本的な仕組みについて理解を深める。 ・原核生物と真核生物の転写機構の違いを理解させる。 ・バイオテクノロジーの利用とこれからの課題について考えを深めさせる。 ・教材・プリント・問題集・図説 ・一人1台端末の活用により図説などから課題を完成する。	【知識・技能】 授業内容の理解度、およびPCを利用しプリントを完成させることができるか。実験を正確に行うことができるか。定期 【思考・判断・表現】 PCを利用し課題を完成できる、実験結果レポートの考察、定期 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを利用し、調べ学習を進めることができるか。実験を主体的に取り組むことができるか、提出物を期限までにさせる				12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C生殖と発生 1 生物の生殖と配偶子の形成 2 動物の発生 3 動物の発生の仕組み 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	有性生殖において遺伝的多様性が起こることを知り、遺伝子の連鎖や組み換えについて知識を深めさせる。 ・配偶子形成から初期発生の形態変化について学習し、発生にみられる共通性について理解させる。 ・形態形成のきっかけとなる誘導因子について理解させる。	【知識・技能】 授業内容の理解度、およびPCを利用しプリントを完成させることができるか。実験を正確に行うことができるか。 【思考・判断・表現】 PCを利用し課題を完成できる、実験結果レポートの考察、定期 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを利用し、調べ学習を進めることができるか。実験を主体的に取り組むことができるか、提出物を期限までにさせる				10
	定期考査			○	○		1

年間授業計画 新様式

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位
教科担当者：H組： A組： B組： E組：
使用教科書：（なし）

教科 保健体育 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

単元の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔軟体操 ・基礎体力作り（短距離走、ボール投げ、中距離走） ・農芸体操（体操の体得）	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己の狙いに応じた運動を計画を立案したり、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
	B アルティメット 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・アルティメット（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	8
	C バレーボール 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バレーボール（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	10
	D 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・水泳（クロール・平泳ぎの技術習得とタイム測定）	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	7
	E 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる。	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	F 種目選択 バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	12
	定期査						

2 学 期	A 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	水泳（クロール・平泳ぎの技術習得） 水泳（クロール・平泳ぎのタイム測定）	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
	B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔道（受け身・固め技の習得）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	12
	C 種目選択 バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	15
	D ソフトボール 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・ソフトボール（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	10
	E 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる。	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
定期考査							
3 学 期	A 陸上 【知識及び技能】 自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にし、互いに高めあうことができるようにする	・持久走（ワークシート作り、記録測定）	【知識・技能】 自己の体力に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組み、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを大切にし、互いに高めあうことができ、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	B バスケットボール・サッカー 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バスケットボール（技能の習得と試合） ・サッカー（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	C 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる。	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
							合計
	定期考査						105

年間授業計画 新様式

教科： 保健体育 科目： 選択テニス 単位数： 2 単位
教科担当者： H組： A組： B組： E組：
使用教科書： (なし)

教科 保健体育 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

単元の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A テニス 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・テニス（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	32
	定期考査						
2 学 期	A テニス 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・テニス（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	32
	定期考査						
3 学 期	A テニス 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・テニス（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
							合計
	定期考査						70

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】個人の能力に応じ、音楽を色々な楽器、歌、鑑賞等で表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】人生において音楽を愛し、豊かな人生を送る。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
義務教育の知識を再確認し、表現するための技術を身につける。	音楽を楽しみ、自分の世界を表現できるようにする。	色々な生徒の発表を聴くことによって、多様性を音楽を通して学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	オペラについて音楽を形作っている要素を理解する。 楽曲の文化的・歴史的背景を理解する。 オペラを鑑賞して理解した内容を表現する。	指導内容 ・校歌 ・オペラの鑑賞 ・合唱曲「はなみずき」 ・実技テスト ・リズム発表「野菜の気持ち」 ・夏の歌「夏の思い出」 ・夏の日「浜辺の歌」	○	○	○	○	1) 基本的なことが理解できているか。 2) 音程うやリズム感に気を付けて歌う。 ・授業の取り組み状況 ・実技テスト ・発表内容 ・レポート	○	○	○	24
2 学 期	周りの歌声をよく聞いて、ハーモニーを感じながら歌う。歌詞の内容を考えながら音符に気をつけて歌う。 楽器の特徴をつかみ合奏をする。	指導内容 ・合唱曲「マイラバー」 ・合奏 ・合唱「青いベンチ」 「大切なもの」 「あなたに」 「ふるさと」	○	○	○	○	1) 基本的なことが理解できているか ・楽典→ノート点検 ・聴音→ノート点検 2) 自分の持つ力を発揮できたか。 ・リズム→実技テスト ・棒の長さや向き、書き方、拍子の表し方等。 基本が理解できているか。 ・歌唱→実技テスト ・楽器→実技テスト	○	○	○	26
3 学 期	人に感動させるように歌う。	指導内容 ・合唱曲 「校歌」「旅立ちの日に」	○	○	○	○	1) 基本的なことが理解できているか ・楽典→ノート点検 ・聴音→ノート点検 2) 自分の持つ力を発揮できたか。 ・リズム→実技テスト ・歌唱→実技テスト	○	○	○	20 合計 70

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ 「美術 2」 光村書籍（3 8 | 光村 | 美術Ⅱ 701） ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができている。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培おうとしている。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
1 学 期	デザインの下絵を4組考える。 デザインの下絵4組を着彩する。 デザインの下絵4組着彩し、好ましい1組を選択する。	指導内容 ・平面構成	○	○		○	美術への関心・意欲・態度：課題作品 発想や構想の能力：課題作品 創造的な技能：課題作品	○	○	○	24
2 学 期	ボックスを組み立て、内部の板の構成を取り付け、飾るための材料を創作する。 全体の構成が調和するように配置し、自分のテーマに沿って作成を進める。	指導内容 ・ボックスアート ・シュールリアリズム絵画 ・鑑賞	○	○		○	美術への関心・意欲・態度：課題作品 発想や構想の能力：課題作品 創造的な技能：課題作品	○	○	○	26
3 学 期	机上の静物を鉛筆デッサン。質感や立体感、陰影を出す前に、形をよく見てとる。 形が取れてから、陰影描写。質感は鉛筆のトーンの幅を出して、立体感を表現する。	指導内容 ・静物画デッサン	○	○			美術への関心・意欲・態度：課題作品 発想や構想の能力：課題作品 創造的な技能：課題作品	○	○	○	20

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ Power On English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて日常的、社会的な話題について外国語を理解したり表現しようとすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の学習を通して海外の文化や人々の考えを理解し世界平和に貢献しようとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基本的文法事項を理解し、その知識を利用して英文を理解することができる。 ・重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。 ・本文の内容を把握し簡単に説明できる。	・授業中、又、授業の予習、復習時に、課題プリントやノートを利用して、授業で学んだことをもとに思考を深め自己表現につなげることができる。（課題やノート提出を期限内に行うことができる。）	・英語基礎力定着に不可欠な語彙力増強を目指して行う単語テストの勉強に主体的に取り組む、成果をあげることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Play Me, I'm yours Listeningストリートピアノがどの ように設置されるか、聞き取ることが できる。Readingス トリートピアノと人々・社会との かかわりについて読み取ることがで きる。Speaking(Interaction)スト リートピアノについて話し合うこと ができる。Speaking (Presentation)スト リートピアノについて発表することがで きる。Writingストリートピアノの 設置経緯について紹介文を書くこと ができる。	文法事項の理解と定着、重要語句 の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用 して英文を理解することができる。重要 表現を理解し英文の中で意味をとらえる ことができる。本文の内容を把握し簡単 に説明することができる。家庭学習に取 り組み提出物を期限までに提出すること ができる。単語テストに意欲的に取り組 むことができる。	○	○	○	17
	Vending Machines Listening自動販売機について発表 を聞いて要点をとらえることができ る。Reading海外 のウェブサイトから内容を読み取る ことができる。Speaking (Interaction)発表内容に ついて、質疑応答することができ る。Speaking (Presentation)海外の自動販売機 について発表できる。Writing海外 の自動販売機について原稿を書くこ とができる。	定期考査は中間・期末を行う	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用 して英文を理解することができる。重要 表現を理解し英文の中で意味をとらえる ことができる。本文の内容を把握し簡単 に説明することができる。家庭学習に取 り組み提出物を期限までに提出すること ができる。単語テストに意欲的に取り組 むことができる。	○	○	○	36
2 学 期	New Banknotes Listening キャッシュレス社会についての会話を聞 き取ることができる。Reading新紙 幣とキャッシュレス社会について読 み取ることができる。Speaking (Interaction)新紙幣とキャッシュ レス社会について話し合うことがで きる。Speaking (Presentation) キャッシュレス社会について発表で きる。Writingキャッシュレス社会 について発表原稿を書ける。	文法事項の理解と定着、重要語句 の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用 して英文を理解することができる。重要 表現を理解し英文の中で意味をとらえる ことができる。本文の内容を把握し簡単 に説明することができる。家庭学習に取 り組み提出物を期限までに提出すること ができる。単語テストに意欲的に取り組 むことができる。	○	○	○	40
	Powdered Natto Sloves a Global Problem Listening納豆パウダーが どのように汚水を浄化するのか聞き 取ることができる。	定期考査は中間・期末を行う	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用 して英文を理解することができる。重要 表現を理解し英文の中で意味をとらえる ことができる。本文の内容を把握し簡単 に説明することができる。家庭学習に取 り組み提出物を期限までに提出すること ができる。単語テストに意欲的に取り組 むことができる。	○	○	○	24
3 学 期	高校3年間のまとめ（復習）とし て、適切に四技能を発揮できる。	文法事項の理解と定着、重要語句 の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用 して英文を理解することができる。重要 表現を理解し英文の中で意味をとらえる ことができる。本文の内容を把握し簡単 に説明することができる。家庭学習に取 り組み提出物を期限までに提出すること ができる。単語テストに意欲的に取り組 むことができる。	○	○	○	合計 105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現1

教科：外国語

科目：論理・表現1

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (Big Dipper English Logic and Expression)

教科 外国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】基礎的な語彙力。リスニング力・英文理解力・作文力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】英文をフレーズごとに理解し、基礎的な英文が書ける

【学びに向かう力、人間性等】欠席なく、課題にまじめに取り組み、期限までに提出できる

科目 論理・表現1

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コーパステストの単語の意味の理解ができる。 リスニングテストで基礎的な語彙が理解できる。 教科書の文法事項の内容が理解でき、自分で英作文が作れる、または英作文を覚えらる。	リーディングパワーの内容を理解して、様々なスキルを習得して英文が理解できる。自分で問題に取り組む。リスニングテストの意味が取れる。	欠席しないで授業に取り組める。課題の提出ができる。授業で指されたら積極的にこたえられる。

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 外国語 科目 論理と表現

教科：外国語

科 目： 論理と表現

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (Big Dipper English Logic and Expression)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】英語でのコミュニケーションを支える手段としての基礎的な英文法、構文を学習する

【思考力、判断力、表現力等】自分の考え、意見を英文で伝えられるよう敵意刹那表現方法を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】他とのコミュニケーションのために積極的に言語活動をする姿勢を培う。

科目 論理と表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①英語でのコミュニケーションをとるのに十分な語彙と文法を身に付ける ②学習した表現方法を場面に応じて適切に使用できる ③文脈や話の内容が理解できる	①与えられたテーマに対して自分の意見が展開できる ②自分の考えや意見を適切な表現できる ③自分の持っている知識を有効に使うことができる	①会話の中に積極的に参加できる ②興味を持った点や疑問を持った点を発話して他に意見を求めることができる

[illegible]

年間授業計画 新様式

教 科： 家庭

科 目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：(家庭総合

)

教科 0

の目標：

単元の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【第4章 高齢者とかかわる】 ・高齢者の心身の特徴や生活、介護をめぐる課題について理解する。 ・日常生活を手助けできる介助の技術を身につける。 ・生活の中でよりよく暮らすための解決方法を考えることができる。	○高齢社会に生きる ・これまでの高齢者との関わりを振り返る ・高齢社会の現状を知り、身近な問題として捉える ○高齢者を知る ・高齢者の生活場面を体験する ・高齢者と家族とのかかわり、経済、社会での活躍などを知り高齢者における生活の課題について考える。 ○高齢者の自立を支える ・要介護の高齢者との接し方を考える ○高齢社会を支えるしくみ ・介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える	・高齢社会の課題やその解決に向けて、新聞記事などを収集・分析し、自分の考えをまとめることができる ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している	○	○	○	14
	【第10章 経済的に自立する】 ・家庭経済を国民経済、国際経済の関係性に気付く ・家庭の収入や支出、予算、生活の必要性について理解する。 ・生活設計と関わらせ、長期的経済設計の必要性について理解する。	○暮らしと経済 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ ○適切な家計管理について考える。 ○将来のライフプランニング ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について考える。	・家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる ・短期、長期的経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる ・将来のライフイベントとその費用を考えることができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	【第3章 子どもと関わる】 ・育児を学ぶ意義について理解する。 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解する。	・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 ・職業労働、家事労働について、グループで話し合い意見を発表する。	・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い出しながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもと関わりながら、理解しようとする。 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 ・子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。	○	○	○	14

1 学 期	【第6章 食生活をつくる】 ・食事の意義を理解する。 ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 ・衛生と安全に配慮して調理することができるようになる	・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食事摂取基準、食品群別摂取量などを用い、家族の献立作成を行う。	・食事の意義や役割について、食文化や食生活を取り巻く環境から理解できる。 ・栄養、食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる ・現在の日本の食生活においての課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【第6章 食生活をつくる】 ・日本の食料自給率の現状を理解する。 ・情報に惑わされることなく、安全な食品を選択できるようになる ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる	・食品の自給率や食に関する環境問題について考える。 ・環境に配慮した食生活（食品ロス）について考える。	・現在の日本の食生活においての課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【食生活をつくる】 ・食事の基本的な意義を理解させる。 ・家族、友人等集団での食事を共にすることの意義など、食事に関わる利点を再確認させる。 ・現代の食に関する問題点を把握させる。 ・健康維持のために食事がどのように大切かを理解させる。 ・各国の食料自給率を通して、日本における食料生産の問題点を考えさせる。 ・市場にあふれる食材の背景にあるものに気づき、食料の価値を考える。 ・地球環境の保全、生物連鎖と食生活との関わりについて理解し、環境保全、資源の有効活用の意識を高め、日常の生活行為を見直させる。	○ 食事の意義と役割 1 からだをつくる食事 2 食生活を豊かにする食事 ○ 食をとりまく現状 1 栄養摂取の変化と現状 2 生活習慣病と欠食 3 ライフスタイルの変化 4 食料自給率と食品ロス 5 食品の安全性と環境の変化	・食事は、栄養を供給し、生命の維持や健康の保持増進を図ると同時に、精神的な役割や文化的な役割を果たしていることが理解できる。 ・日本の食生活の現状について、問題点が理解できる。 ・現代の食生活の現状について、情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。 ・グループ討議の結果をまとめ、パワーポイントなどでプレゼンすることができる。	○	○	○	12
	【食生活をつくる】 ・栄養バランス、年齢、性、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、日常食、行事食など用途に適した献立が作成できる。 ・これまで身につけた知識を調理にいかし、手際よくつくることができるようにする。 ・基礎的な題材から始めて、品数を増やしたり、工程が多いものに移行していくなど、段階的に調理技術の向上をはかせる。	○ 献立作成 1 日常食の献立作成条件 2 日常食の献立作成の手順 3 供応食・行事食 4 テーマ設定と調理実習	・食事のテーマに応じた献立作成、食品材料の選択と調理など、一連の流れを計画し実践ができる。 ・具体的な食事テーマを設定し、その目的に応じた献立を考えることができる。 ・作成した献立に適した食品を選択する事ができる。 ・食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境を判断することができる。 ・食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方、周囲の環境づくりを行おうとする意欲・関心が感じられる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2	【子どもとともに生きる】 ・子どもの栄養と食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。 ・食事が生活習慣の確立や心の発達に重要な役割をもつことを認識する。 ・近年の幼児に関する食事習慣や健康面の課題を知り、家庭や保育施設でどのようなことが求められているか考察する。	○ 子どもの健康と生活 1 栄養と食生活 2 乳児の食事 3 離乳 4 幼児の食事	・乳幼児期の食生活の特徴や、発達に必要なエネルギー・栄養素などについて理解している。 ・子どもの食生活の特徴に合った料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につけている。 ・現代の子どもの食生活の変化について、健康や生活習慣に関する課題を見つけ、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。 ・料理を作る際に、食べやすさや栄養素のバランス、アレルギーに配慮するなど、工夫することができる。 ・保育施設で行われている食育活動などに関心をもち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。	○	○	○	12

子 期	【子どもとともに生きる】 ・幼児食実習や幼児用おやつづくりなど、実習を通じて子どもをイメージする。 ・実際に子どもとふれ合うことを通じて、子どもの保育の方法や発達、健康・安全、福祉、遊びについて理解を深める。	○子どもの健康と生活 1 幼児の食事 ○保育実習	・調理に関心をもち、調理実習に積極的に参加している。 ・保育実習において、子どもの発達や生活の特徴を調査・観察し、まとめたり発表したりすることができる。 ・保育実習において、子どもの発達段階や生活の特徴を意識しながら、積極的に子どもとかわろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【防災】 ・災害情報の入手方法、安全への備えとして必要なことを考える	○防災 ・防災リュックの製作 ・ローリングストック ・調理実習	・安全な生活のためにどのような課題があるのを見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1